

新商業高等学校基本構想

— 仙台商業高等学校・仙台女子商業高等学校の統合 —

平成18年10月26日

仙台市教育委員会

平成17年7月14日に「仙台市立高等学校教育検討委員会」から答申を受け、平成18年5月26日に「仙台市立高等学校再編計画」を決定した。

これからの高校教育では、次代を担う社会人として必要とされる基本的な内容を生徒に確実に身に付けさせることが重要である。そして、生徒一人ひとりに対して、自分の興味・関心や進路などに基づく主体的な学習を促し、それぞれの個性を最大限に伸ばすため、選択の幅の広い教育を推進していくことが大切である。

新商業高等学校においては、社会から求められる新しい時代にふさわしい商業教育の再構築を進める。そのため、自ら学習しようとする意欲を育み、スペシャリストとしての専門性を目指す高等教育や企業教育へつながる継続教育を行う。

1. 新商業高等学校の理念・方針

新商業高等学校は、基礎学力の充実を図ることはもとより、将来のスペシャリストとして必要とされる専門性の基礎的・基本的な教育を重視する。また、生徒が自ら学ぶ意欲を高め、社会・経済の変化に主体的に対応できる能力を身に付け、卒業後も職業生活に必要な知識・技術に関する学習を継続する態度を育成する。そのためには、普通教育及び専門教育双方のバランスの取れた学力と継続教育を前提とした教育課程を編成する。

商業教育を取り巻く環境は、産業構造、就業構造の変化、進学希望者の増加による生徒の多様化、高校教育と社会のニーズとの隔たり等の現状がある。また、地域企業が求める、高校段階で身に付ける資質・能力は、社会的な常識や礼儀、コミュニケーション能力など、基本的な生活態度や自主性、社会性、問題解決能力などのソフトスキルである。これらのソフトスキルの育成と向上を図るため、外部機関が持つ教育力を活用し、将来において新しい事業を創造する意欲と態度の総合的な資質の育成を図ることが必要である。

新商業高等学校では、継続教育の視点に立ち、基礎学力の保障と、生徒の進路にあった多様な学習選択ができる教育プログラムを提供する。さらに、地域社会の外部機関で実践的体験学習を進め、学んだ知識を活かし、学習意欲の向上と豊かな人間性、社会性を育む教育を行う。また、将来の進路に適応できるよう個に応じたより高度な資格取得につながる教育を目指す。

新商業高等学校は、商業教育の中核校として、新しい時代の創造を担うことのできる専門知識や技術・技能を有する将来のスペシャリストの基盤づくりを推進し、将来の職業を見通した継続教育の場として「次代のビジネス教育をリードする高校」を目標とする。この新商業高等学校では、地域産業の活性化に貢献できるリーダー的人材の育成につながる、質の高い教育を保障する。そして、生徒個々の進路実現に応えられる商業高校の個性化・特色化を進めるものである。

2. 新商業高等学校の基本構想

(1) 課程

全日制課程

(2) 設置学科

商業科

(3) 開校年度

平成21年度(仙台商業高等学校と仙台女子商業高等学校の統合)

(4) 設置場所

仙台市泉区七北田字古内75番地(仙台商業高等学校の校地)

(5) 設置方法

平成20年度に、新商業高等学校を設置する。

平成21年度に、新商業高等学校を開校し、仙台商業高等学校及び仙台女子商業高等学校の平成19・20年度入学生は、新商業高等学校へ移籍する。

(6) 学校規模

960名(平成23年度以後 1学年8クラス, 1クラス40名)

(7) 募集定員

男女320名

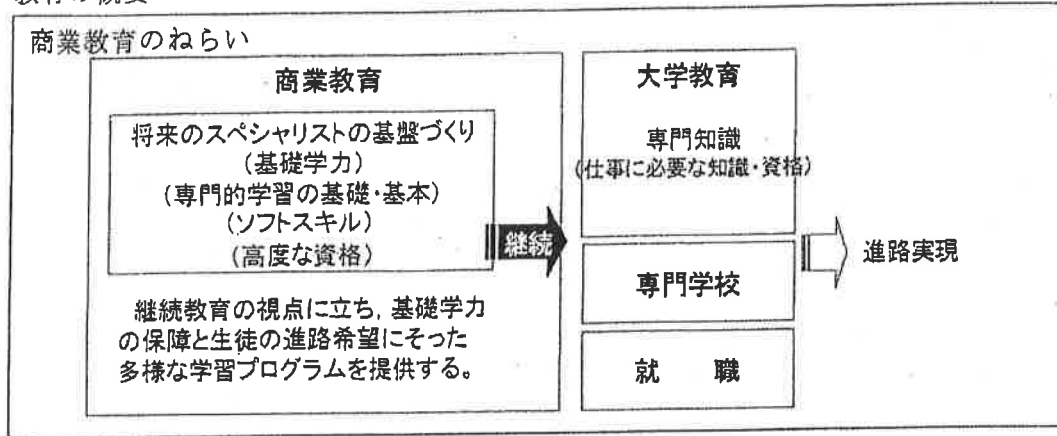
(8) 学期

2学期制

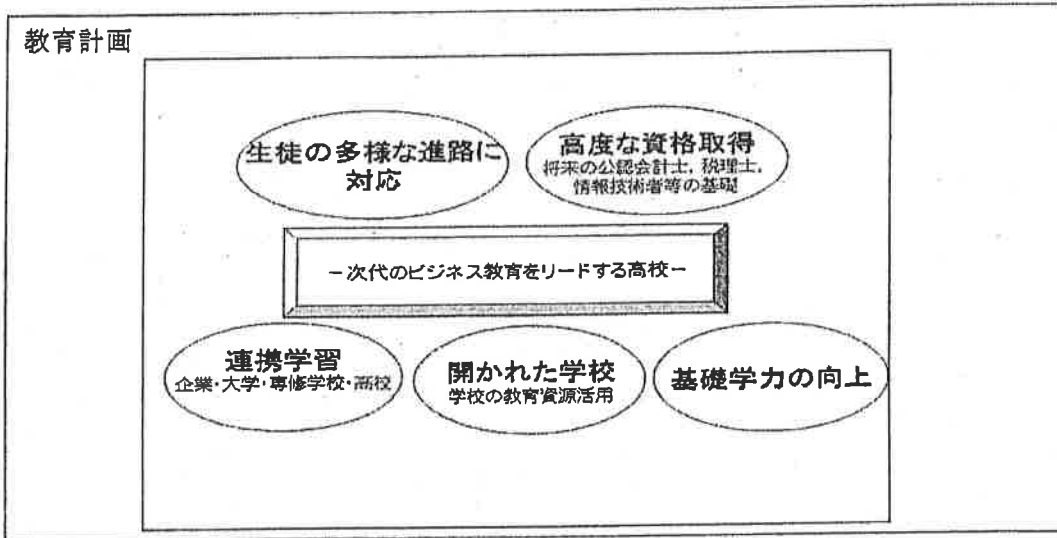
(9) 通学区域

宮城県全域

教育の概要



教育計画



商業高校から継続教育へのイメージ

